

大 阪 市

町 政 を 問 う !

教 育 部 門 関 連 質 問



**Q** (井上・山野議員) 熊野町内の防犯対策の現状と、今後について問う。

**A** 各方面と協力し地域の犯罪予防をめざす。(西原教育長)

**A** 事件発生後、緊急校長会で危機管理体制の再検討、保護者への緊急通知を配付した。不審者の情報などは県教育委員会・泉質茂教育事務所からの受信後、全小中学校長へFAXを送信している。また、必要な場合には保育所や幼稚園にも情報提供している。今後は携帯電話への連絡網も視野に入れている。

また、各学校に児童生徒用の防犯ブザーや、教師用の非常用メガホンなどを貸与すると共に、防犯教室な

**Q** 先日の矢野における女児殺害事件を教訓として、当町においてもそれなりの対応が必要と思う。現在実施している対策とその内容は。

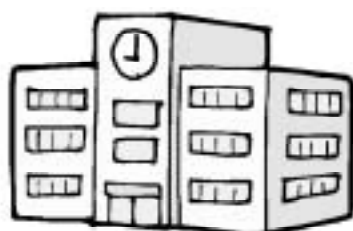
また、学校や保護者への不審者情報の公開・提供はどのようになっているか。児童生徒・保護者への対応と防犯指導、地域住民との協力体制など、その具体的な事例について問う。

どを開催してそれらの使い方や安全教育を推進している。また、小学校低学年の一斉下校体制をとったり、ボランティア団体と役場職員の協力を得て緊急パトロールを実施した。今後も、防犯ボランティア育成に学校・保護者が積極的にかわり、地域の犯罪予防をめざしたい。



**Q** (井上議員) 町立学校の校内暴力の発生状況は。

**A** 生徒同士でのケンカが数件発生している状況である。(西原教育長)



**Q** 文部科学省が発表した校内暴力状況について、9月23日に新聞等が取り上げ大きな反響を呼んでいるが、当町の実態はどうか。

**A** 熊野町内における校内暴力の発生件数は、平成15年度で8件、平成16年度で6件、平成17年度10月末までで3件発生している。なおこれはいずれも生徒間でのケンカが主なものである。今後も校内暴力ゼロに向けて生徒指導の充実と徹底を図っていきたいと考えている。